|  |  |
| --- | --- |
| 受理番号 |  |

（様式１）

年　　　月　　　日

真鶴町長　小林　伸行　あて

【提案者】

団体名

代表者名

住所（所在地）

　　　 　 Eメール

連絡先　　　　（　　　）　　　－

応募書類提出届

下記事業について、以下の書類を提出します。

記

事業名称：2025年度NPO等と真鶴町が連携した子どもの居場所づくり支援モデル事業

|  |
| --- |
| 提出書類 |
| □ | （様式２）事業提案書　　※添付資料として企画書・参考資料の提出可 |
| □ | （様式３）経費計画 |
| □ | （様式4）事業の実施体制 |
| □ | （様式５）法人の概況書 |
| □ | （様式6）誓約書 |
| □ | 団体の規約・定款（任意様式） |

注）提出する際、□を塗りつぶすこと。

(様式２)

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 |  |

事業提案書

|  |  |
| --- | --- |
| 提案名 |  |
| 提案の目的 | ※現状の課題と目指す姿を簡潔に記載すること。 |
| 実施期間 | 年　　　　　月　　　　　日　　　～　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 提案企画の内容 | ※実施内容、作業スケジュール等を記載のこと。※別添として企画書・参考書類の提出可。 |
| 次年度以降の展開 | ※今回の事業を受け、次年度以降の取り組み・展開を記載のこと。※別添として企画書の提出可。 |
| 補助申請額 | 円 |
| 経費の配分 | 町補助金 | 円 |
| その他 | 円 |
| 備考 |  |

（様式４）

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 |  |

事業の実施体制

|  |
| --- |
|  |

（様式５）

　　法　人　の　概　況　書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 法　　人　　名 |  | 代表者氏名 |  |
| 住所 | 〒 | 代表電話 |  |
| 法人設立年月日【法 人 番 号】 | （元号）　　年　　月　　日【　　　　　　　　　　】 | 職員数 | 人（うち常勤　　人） |
| 事業内容 |  |
| 直近過去５年間の実績等（活動内容） |  |

（様式６）

誓 約 書

□ 当社は、下記１及び２のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。また、その場合、当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

１ 契約の相手方として不適当な者

（1） 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

（2） 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

（3） 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

（4） 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき

（5） 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

２ 契約の相手方として不適当な行為をする者

（1） 暴力的な要求行為を行う者

（2） 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

（3） 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

（4） 偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為を行う者

（5） その他前各号に準ずる行為を行う者

令和 年 月 日

住所（又は所在地）

社名及び代表者名